

平成30年度

事務事業評価表 A (平成29年度の実績評価)

記入年月日
平成 30 年 4 月 18 日

事務事業名		ファミリーサポート・センター事業			事業区分		担当	
		政策体系上の位置付け			新規/継続	継続	事務事業No.	010101000464
		総合計画の施策名			単独/補助	補助		040201
		0101 子育て支援及び少子化対策			主要事業		所属課	児童福祉課
政策体系		政策名	01	子どもから高齢者まで健康で共生のまちづくり	市長マニフェスト			
		施策名	01	子育て支援及び少子化対策	未来PJ事業		グループ	子育て支援G・保育G
		手段名	01	①子育ての支援体制の充実	合併建設計画事業			
財務会計上の位置付け					事業期間			
予算科目	会計	款	項	目	事業	細	一般会計	
	01	03	02	02	07	00	子ども・子育て支援交付金事業	
法令根拠					子ども・子育て支援法、子ども・子育て支援交付金交付要綱			
【Do】					1. 事務事業の現状把握(その1)			

(1) 事務事業の概要	
①事務事業の概要(事務事業の全体像)	②担当者が行う業務の内容・やり方・手順
<p>子育て援助活動支援事業</p> <p>核家族化や女性の社会進出が進むなか、子育てにおける負担の軽減や仕事と子育ての両立支援など、安心して子育てができる環境づくりを推進するために、既存の子育て支援を補完するサービスとして「ファミリーサポートセンター事業」を実施する。</p> <p>ファミリーサポートセンター事業は、乳幼児や小学生等の児童を有する子育て中の労働者や主婦等を会員として、児童の預かりの援助を受けたい者と当該援助を行いたい者との相互援助活動を推進し、既存の体制では応じきれない変動的、変則的な保育ニーズに対応する。</p>	<p>桜川市社会福祉協議会への事業委託。</p> <p>ファミリーサポートセンターにアドバイザー(相互援助活動の調整等の事務を行う者)を配置し、事業の周知、会員の募集・登録、相互援助活動の調整・把握等、会員に対して相互援助に必要な知識を付与する講習会の開催、会員の交流を深め、情報交換の場を提供するための交流会の開催、子育て支援拠点事業との連絡調整を実施する。</p> <p>国県交付金申請9月、変更交付申請12月、実績報告3月</p>

(2) 事務事業の手段・対象・意図と各指標、指標値の推移							
①手段 (担当者の活動内容)	④活動指標 (活動量を表す指標)	単位	28年度 (実績)	29年度 (実績)	30年度 (計画)	31年度 (目標)	32年度 (目標)
桜川市社会福祉協議会への事業委託。ファミリーサポートセンターにアドバイザーを配置し、事業の周知、会員の募集・登録、相互援助活動の調整、講習会・交流会の開催、子育て支援拠点事業との連絡調整を実施。	子育ての援助を必要として登録会員数	人	371.00	371.00	371.00	371.00	371.00
	子育ての支援ができるとして登録会員数	人	23.00	24.00	25.00	25.00	25.00
	利用件数	件	17.00	0.00	15.00	15.00	15.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
②対象 (誰、何を対象にしているのか)	⑤対象指標 (対象の大きさを表す指標)	単位	28年度 (実績)	29年度 (実績)	30年度 (計画)	31年度 (目標)	32年度 (目標)
子育ての援助を必要とする世帯 子育ての援助を行うことができる人	保育所入所児童数	人	742.00	740.00	740.00	0.00	0.00
	学童クラブ利用児童数	人	370.00	486.00	370.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
③意図 (この事業によって対象をどう変えるのか)	⑥成果指標 (対象における意図の達成度を表す指標)	単位	28年度 (実績)	29年度 (実績)	30年度 (計画)	31年度 (目標)	32年度 (目標)
安心して仕事と子育ての両立ができるようにする	安心して仕事と子育ての両立できると答えた市民	%	65.60	63.70	64.00	64.00	64.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

(3) 投入量(事業費)の推移		28年度 (実績)	29年度 (実績)	30年度 (計画)	期間限定 総投入量	
投入量	事業費	国庫支出金	千円 666	666	666	0
		県支出金	千円 666	666	666	0
		地方債	千円 0	0	0	0
		使用料・手数料	千円 0	0	0	0
		その他	千円 0	0	0	0
		一般財源	千円 668	668	668	0
	事業費計(A)	千円 2,000	2,000	2,000	0	
人件費	正規職員従事人数	人 4.00人	4.00人	5.00人		
	述べ業務時間	時間 74.75	53.00	53.00		
	人件費計(B)	千円 219	155	155		
トータルコスト(A)+(B)		千円 2,219	2,155	2,155		

事業費の内訳	29年度事業費 実績(千円)			30年度事業費 予算(千円)		
	13 委託料	2,000		13 委託料	2,000	
	合計	2,000		合計	2,000	

(4) 当該年度の実施内容	30年度の事業内容	31年度の事業内容	32年度の事業内容
<p>※下記に該当する事業は、年度ごとに事業内容を記入する</p> <ul style="list-style-type: none"> ・主要事業 ・市長マニフェスト ・未来PJ事業 ・合併建設計画事業 			

事務事業名	ファミリーサポート・センター事業	事務事業No.	10101000464	所属課	児童福祉課
-------	------------------	---------	-------------	-----	-------

【Do】 1. 事務事業の現状把握(その2)

(5) この事務事業を開始したきっかけは、いつ頃どんな経緯で開始されたのか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?

核家族世帯、ひとり親世帯の増加、三世帯世帯の減少等家族構成の変化や共働き世帯の増加などを背景に子育てニーズは多様化している。安心して仕事と子育ての両立ができるようにするためには、ニーズに応じた子育て支援を選択できるような体制の充実が求められており、桜川市第1次総合計画(後期基本計画)における『子育て支援及び少子化対策』の主要事業となっていたため。

(6) この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者)からどんな意見や要望が寄せられているか?

ファミリーサポートセンター事業のアンケート調査においては、事業を必要とする声がある反面、他人に育児を託すのが不安だという意見がある。

(7) 前回の事務事業評価に対する改革・改善の具体的内容

改革改善を行う

【See】 2. 評価の部 *原則は事前評価。

評 価 項 目

目的 妥当性	①政策体系との整合性 (この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか?意図することが結果に結びついているか?)	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている	桜川市第1次総合計画における『子育て支援及び少子化対策』の主要事業である。
	②公共関与の妥当性 (なぜこの事業を市が行わなければならないのか?税金を投入して、達成する目的か?) (法定受託事業はその名称)	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である	国が少子化対策として進めている子育て支援事業なので妥当である。
有効性	③成果の向上余地 (成果を向上させる余地はあるか?成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか?何が原因で成果向上が期待できないのか?)	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある	事業の周知を十分に行い認知度を高めることにより、成果向上が期待できる。
	④廃止・休止の成果への影響 (事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は?)	<input checked="" type="checkbox"/> 影響有	保護者が仕事と育児を両立し安心して働くことができる環境づくりに影響する。
	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 (類似事業や統廃合の可能性はありますか? (市以外の取り組みも含む)) (他に手段がある場合) ⇨ 具体的な手段、事務事業名	<input checked="" type="checkbox"/> 余地がない	他に類似事業がない。
効率性	⑥事業費・人件費の削減余地 (成果を下げずに事業費を削減できないか?やり方を工夫して延べ業務事業を削減できないか?)	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない	補助制度に基づき事業費を支出しているため削減余地がない。
公平性	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 (事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか?受益者負担が公平・公正になっているか?)	<input checked="" type="checkbox"/> 公正・公平である	登録会員が利用するため公平・公正である。

【Plan】 3. 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)

(1) 1次評価者としての評価結果		(2) 全体総括(振り返り、反省点)																			
①目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ②有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり ③効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	⇨	こども子育て会議においても利用を進めていくことが求められており、広報や学童クラブでのアンケートなどによりファミリーサポートセンターに対する認知度は高まってきている。しかし、利用数の増加につなげていない状況となっており、預り場所の確保や利用のしやすさ向上が求められている。																			
(3) 今後の事業の方向性		(4) 改革・改善による期待成果 (終了・廃止・休止の場合は記入不要)																			
<input type="checkbox"/> 終了 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 改革改善を行う <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止		(複数回答可) <input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input type="checkbox"/> 効率性の改善 <input type="checkbox"/> 有効性の改善 <input type="checkbox"/> 公平性の改善 <input type="checkbox"/> 統廃合ができる <input type="checkbox"/> 連携ができる																			
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策		<table border="1"> <tr><th colspan="4">コスト</th></tr> <tr><th></th><th>削減</th><th>維持</th><th>増加</th></tr> <tr><th rowspan="3">成果</th><td>向上</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>維持</td><td>○</td><td>×</td></tr> <tr><td>低下</td><td>×</td><td>×</td></tr> </table>		コスト					削減	維持	増加	成果	向上			維持	○	×	低下	×	×
コスト																					
	削減	維持	増加																		
成果	向上																				
	維持	○	×																		
	低下	×	×																		
(6) 事務事業優先度評価結果																					
成果優先度評価結果																					
コスト削減優先度評価結果																					

【Check】 4. 確認及び改革改善に向けての指摘事項

(1) 課長評価	(2) 部長確認及び評価 (課長評価により、C、D判定及び確認が必要な場合)
課長確認後の評価 <input type="checkbox"/> A:継続(現状維持) C:終了、廃止、休止 <input type="checkbox"/> B:継続(改革改善を行う) D:2次評価へ提出	確認欄 <input type="checkbox"/>